

シェアサイクル事業について

事業者公募結果

募集方法

- 事業提案制度により実施事業者を公募

募集期間

- 令和3年10月1日～10月15日

応募事業者数

- 1社（OpenStreet株式会社）
 - 2016年、SoftBankの社内ベンチャー制度により事業化され、HELLO CYCLINGの名称でシェアサイクル事業を展開
 - 全国60自治体、都内14自治体との協定締結実績
 - 近隣では、国立市/国分寺市/小平市/八王子市において実施中

選定委員会

- 令和3年10月21日 庁内にて委員会を組織し、選定

シェアサイクル事業について

シェアサイクル実証実験概要

実施(実証)期間

- 令和4年4月1日～令和7年3月31日

提案概要

- 24時間/365日貸出、返却
- 電動アシスト付自転車の配備
- ビーコン、GPSを活用した放置対策の徹底
- 災害時における無料開放及び蓄電池としての活用(市業務での利用)

イメージ図



シェアサイクル事業について

シェアサイクル実証実験 目的①

実施目的

地域交通の補完(①回遊性向上/②アクセス性向上)

①回遊性向上:市民/来街者(レジャー等)向け

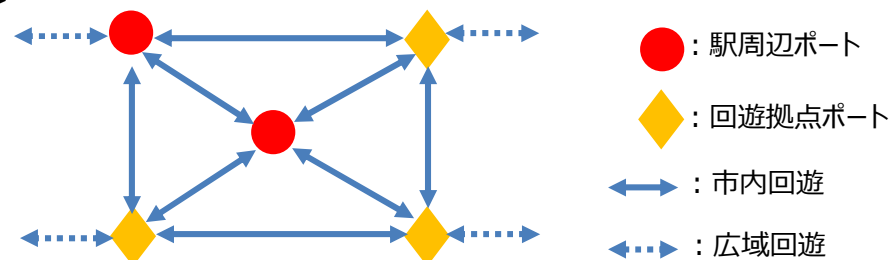
<市内回遊>

買い回り、公共施設利用、市内におけるレジャーの促進

<広域回遊>

サイクリング、観光等、市域を跨いだ経済活動の促進

<回遊イメージ>



シェアサイクル事業について

シェアサイクル実証実験 目的②

②アクセス性向上: 市民/来街者(事業者、学生)向け

<市民>

通勤、通学

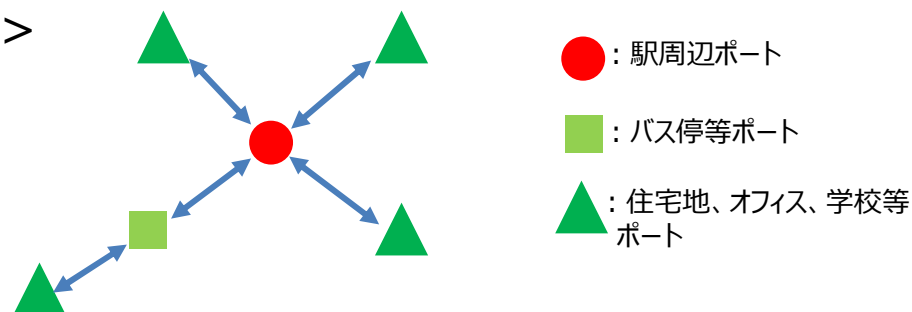
<事業者>

ビジネス、デリバリー

<学生>

通学(イグレス)

<アクセス/イグレスイメージ>



シェアサイクル事業について

シェアサイクルポートの設置

公共施設への設置

- 約20か所/100ラックを軸に調整中
- ※公共用地以外に、事業者が主体となり民間商業施設等に設置

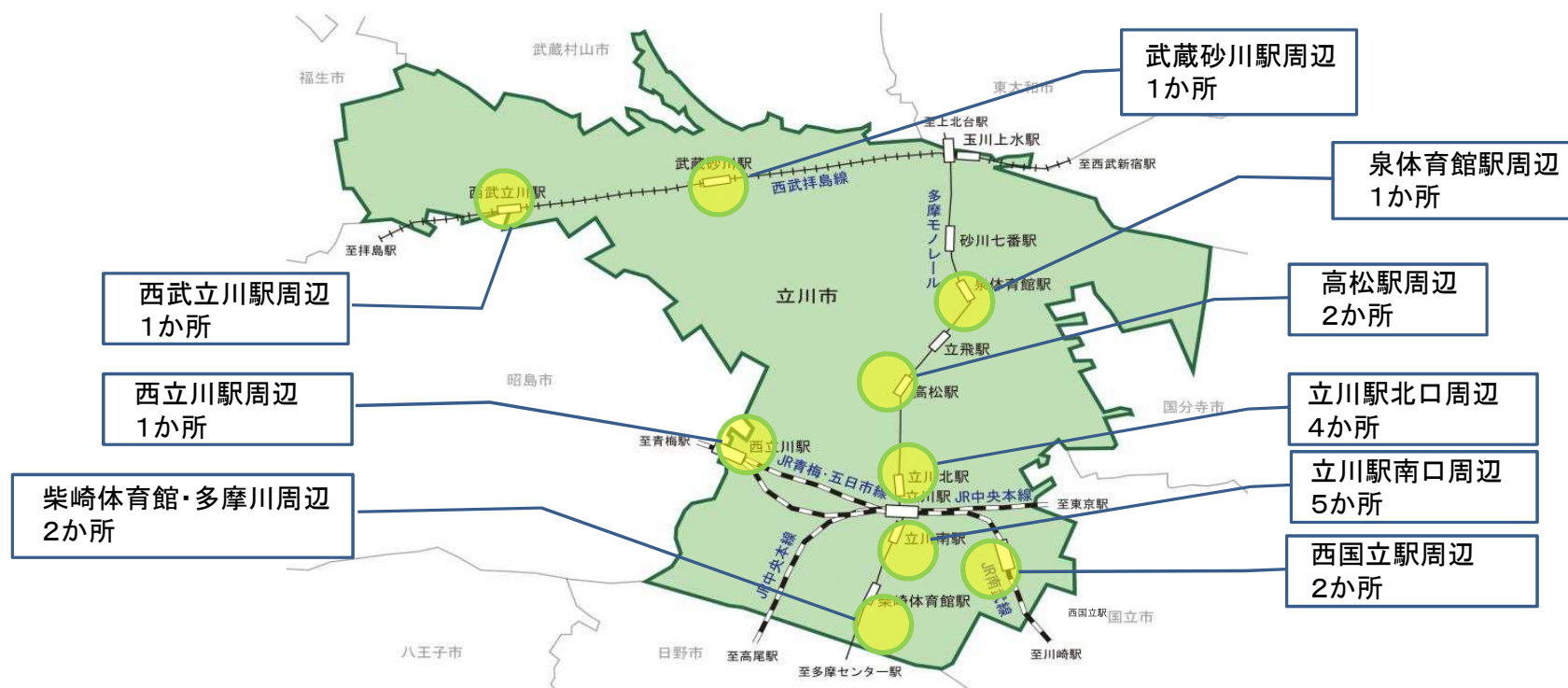


シェアサイクル事業について

シェアサイクルポートの設置

公共施設への設置

- 約100ラック/約20か所を軸に調整中
- ※公共用地以外に、事業者が主体となり民間商業施設等に設置



シェアサイクル事業について

今後の取組み

- 協定に基づき、実施に向けた具体的対応、事前準備(サイクルポート設置等)を行う。
- 令和4年4月から同社によるシェアサイクルを実施予定の福生市と連携事業(利用促進策)について、協議・調整を進める。